

しなののうた

戸隠の植物園に降りたるはひとりのみにて心細かり



杉田小百合

しなののうた

おおかたはキャンプ場行き若人ら声華やぎて車内に満ちる

杉田小百合



しなののうた

秋風に乗りて聞こえる蝸のひと声高く森に消えたり



杉田小百合

しなののうた

うす暗き靈感漂う森林に鬼女のよぎりて足早やに過ぐ

杉田小百合



しなののうた

分け入れば木の間隠れの尼の像
かたえに白き萩の花咲く

l.MI

杉田小百合